

奥能登

かみときくにけ



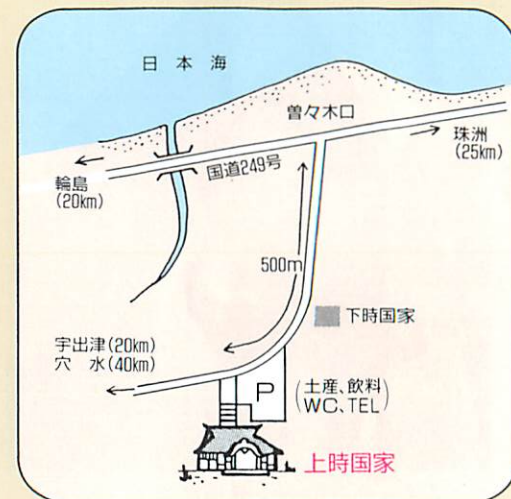
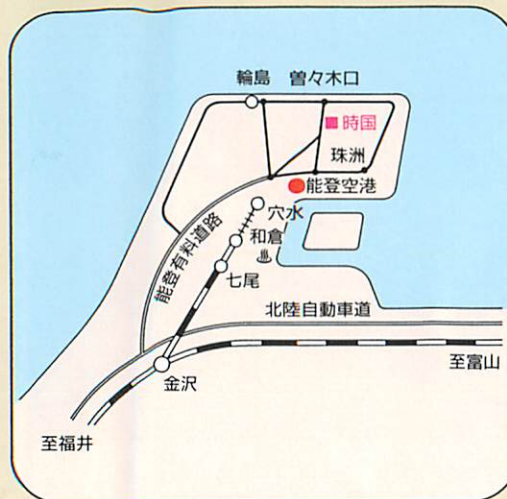
本家 上時国家

国指定 重要文化財(建物)・名勝(庭園)



最大級の木造民家、平家第一の実力者〔平 時忠〕の子孫

交通のご案内



入館のご案内

- 開館時間
 - 8:30~17:30 (7月~9月)
(入館は17:00まで)
 - 8:30~17:00 (10月~6月)
(入館は16:30まで)
 - 予約があれば18:00まで延長可能
- 入館料金 (平成25年現在)
 - 大人 500円
 - 高校生 400円
 - 小中学生 300円
 - 団体割引 11名以上
- 所要見学時間
 - 約20分

〒928-0204
石川県輪島市町野町南時国
上時国家
電話(0768)32-0171
URL <http://www.geocities.jp/kamitokikuni/>

上時国家の由緒

今から八〇〇年の昔、平清盛の義弟平大納言時忠は、平閔白ともいわれ、平家一族の実質上の統領であった。源平の合戦で平家が滅亡した際、時忠は神器の帰座の功により特別の計らいで能登に配流となり、配所で没した。

その子時国は、近隣の村々三〇〇石を統治し、館を構え、江戸時代には天領の大庄屋を務め、苗字帯刀を許された。このころ第二十一代当主は、現代に残るこの豪壮巨大な屋敷を築き、第二十五代当主が現在もこの屋敷と伝統を守っている。



大納言の間：大納言の格式を表す縁金折上格天井。加賀百万石藩主（中納言）も天井に紙を貼ってから入室された。

上時国家家譜



屋敷の概要と見どころ

建物

(重要文化財)

- およそ一八〇年前に建造され、完成までに二八年を要した。
- 建坪一八九坪、入母屋茅葺きの大屋根は、高さ一八メートル。
- 玄関は唐波風総けやき造り、大納言の間は書院造り。
- 文化財指定に際し、「近世木造民家の一つの到達点を示す」と評価され、巨大さとともに手の込んだ造りが特徴。
- 鎌倉時代の様式とされ、平庭には心字池を配し、また高庭は自然の地形を巧みに利用した、独特の作風。
- 武具、火消装束、道中用具、千石船用品、化粧道具、遊び道具、儀式用品、他。
- 絵図面、籠、炉と自在鉤、神仏混交神棚、他。

庭園

(名勝)

調度類



土間と籠：上部のはりは松の芯材だけを使い、その周囲は約2m。ここから屋根最頂部の内側を見ることができる。



茅葺大屋根側面：最頂部は地上18m。4～5階建ビルを、木と茅で作ったようなもの。